

湊川相野学園 ニュース

発行:2022年10月

No.95

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川短期大学

「人間生活学科に『心理デザインコース』が誕生します」

2023年4月、人間生活学科に「心理デザインコース」が開設されます。このコースでは「多角的視点からヒトの生活と心の健康を理解し、自分自身の人生をデザインすると共に他者の心に寄り添える人材の育成」を目指します。ストレスへの対処方法も学べるので、日々の生活にも役立ちます。また、他コース（養護教諭コース、医療秘書事務コンピュータコース、食育健康コース）と組み合わせることで「子どもの心に寄り添える養護教諭になる」、「患者様の気持ちを理解しサポートできる医療事務員になる」などの将来も考えられます。

心理デザインコースの開設を機に4コースをイメージした学科ロゴが誕生しました。新たにスタートする人間生活学科で心と身体の健康について学び、未来の自分をデザインしてみませんか。



湊川短期大学

人間生活学科

三田松聖高等学校

「国体馬術兵庫県代表 少年団体障害飛越競技2位 松岡凜桜さん」

まつおかりお



10月7～9日、栃木県で開かれた「第77回国民体育大会」馬術競技の団体で本校の1年生松岡さんが自馬の愛称ルル（雌馬11歳・ベルギー産）と出場し、みごと準優勝となった。

この競技は、1チームが2人から成りトーナメント方式で対戦。2人目は相手校と馬を交換し競技する。決勝（対北海道）では、減点6-8のわずか2ポイント差で敗れ悔しい思いをした。しかし、ルルをうまく乗りこなしていた相手校の選手を見て、「学ぶところが多かった」と謙虚さも忘れない。

「国体と全日本ジュニア選手権を2大目標に掲げていたのでうれしかったし、行ってみてとても楽しかった。正直、始めて1年半で出られるとは思っていなかった」と話す。

中学の時、乗馬クラブの外乗を体験したのをきっかけに、馬術の道へ。馬場を2ヶ月やってみた後、障害に移り本格的に取り組むようになった。学校が終わるとお母様の車でルルの待つKTステーブル（口吉川）に直行。5時から1時間ほど乗馬した後、全体のブラッシング、尻尾とたてがみはシャンプー&リンスし丁寧に乾かす。馬房をきれいに掃除して、それからルルを返す。終わるとたいい夜8時過ぎになっている。馬の11歳は人間の37歳程度に相当するらしく、大会が終わった日などは時間をかけてメンテナンスをし大切な相棒を心から労う。「将来は大学で大障害競技に挑戦してみたい」夢は始まったばかりだ。



湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 「運動会」

2学期がスタートし、未だコロナ禍にあり欠席者が多い日が続きました。9月末には学級閉鎖の措置をとるクラスもあり、なかなか落ち着かない日々でした。クラス全員が揃う日が少ない中で、運動会に向かって遊びを積み重ねました。運動会当日は、好天にも恵まれ、



いきいきとした園児たちの姿を披露することができ、保護者の方々の笑顔と温かい拍手を頂きました。運動会後、お父さん、お母さんにしっかりと抱きしめてもらっている子どもたちの笑顔もとても素敵でした。私たち職員も園児たちのたくましさを改めて感じた運動会となりました。

10月は、運動会が終われば、遠足においもほり、秋のパーティ等々まだまだ楽しいことが盛りだくさんです。

